

病棟名：救急部 ER

診療ベッド：診察室3室・救急初療ベッド3床・リカバリベッド4床

スタッフ人数：看護師長1名・副看護師長1名・スタッフ22名
男性看護師7名

部署の雰囲気：

救急部は緊迫した状況が多いところですが、やさしい師長を筆頭に元気で明るい部署です。

救急車で搬送される患者様から、ウォークインで来院される患者様、重症から軽症まで様々な患者様を受け入れており、ひとたび忙しくなればスタッフが集結し、一致団結して患者様の看護にあたります。

救急部での関わりは短い時間ですが、不安でいっぱい患者様や家族の方に寄り添い、安心してもらえる様に心がけています。

放射線部(TV室、ESWL室、血管造影室、造影CT室、PET室)も兼務しており、いろいろな診療科の医師やコメディカルとの関わりも多く、お互いに専門的な知識を共有し、日々の業務に携わっています。

部署の自慢できること：

救急部は放射線部も兼務しているため初療からカテーテル検査に即座に対応できることが自慢です。そのために、搬送する救急隊を始め、医師・看護師・放射線技師・臨床検査技師・臨床工学士等の多職種がチーム一丸となって、患者様に関わっています。

また、私達看護師は多職種の調整役として、患者様が安心・安全に検査・治療が受けられるように関わっています。

もうひとつの自慢はチームワークです。

めまぐるしい業務の中、自分の業務だけでなく、他のスタッフの業務にも目を配り、お互いに協力しあい、疑問や対応に困ったときなどはすぐに問題提起しみんなで問題解決に努めています。

スタッフからのメッセージ：

スタッフの仲が良く、いつも笑いの絶えない部署ですが、救急車のホットラインになるとすぐに仕事モードに切り替わります。

幅広い疾患の患者様を看護し、生命の危機的な状態の患者様もいるなか私達はフル回転で動いています。

そのような中でも私達は笑顔を忘れずに常に患者様、家族の方に寄り添いながら看護を行っています。

師長(管理者)からのメッセージ：谷本 百恵

モットー・大事にしていること：あしたはあしたの風が吹く

香川県の基幹病院として一次～三次救急の救急患者を 24 時間体制で受け入れています。
香川県は島嶼部や山間部もあり、僻地医療など民間で困難な医療だけでなく、心疾患や脳血管疾患、外傷など高度医療や先進的医療に取り組んでいます。

また、放射線部で行われる各種検査や IVR 検査の看護も兼任しているため、救急外来で初療を行った患者の心臓カテーテルや、脳梗塞患者の血栓回収、外傷患者の胸腔ドレーン留置、など様々な検査・処置の介助も行う為、多くの知識と技術が求められます。

あまりの忙しさに、髪を振り乱し走り回っていますが、勤務の終わりには「今日は大変やったな、頑張ったね」とすがすがしい笑顔で勤務を終える頼もしいスタッフばかりです。

2022 年 4 月ドクターヘリが導入されました。

救急外来での十分な初療経験と、コミュニケーション能力が高く、向上心のあるスタッフ 6 名が他県のドクターヘリ OJT 訓練や、高松市消防での救急車同乗実習など経て、フライトナースに任命されました。

フライトナースは短い現場活動の中で、診療補助や患者の看護を行いながら、多職種とのコーディネートを行います。それだけではなく、自分自身の安全の確保、患者家族のケアも行わなければなりません。

異なる事象に瞬時に対応出来る臨機応変さも求められます。

とても大変な任務ですが、スタッフみんな誇りを持って、いきいきと頑張っています。

やる気と根性のある方、他では経験できないスキルを磨くために、ER で働くことを目指しませんか。

